

国語「現代の国語」 単元の評価規準

内容のまとめ		単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	A 「話すこと・聞くこと」	○話して伝える ○新しい出会い	○話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。((1)イ)	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	○言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。
		○生活の中の表現	○言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。((1)ア)	○「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	○発表を通して、話し言葉の特徴を理解し、相手の理解が得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。
(2) 情報の扱い方に関する事項	B 「書くこと」	○書いて伝える	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ)	○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方の工夫をしている。(B(1)ウ)	○様々な文章を書くことを通して、伝えたいことを明確にし、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。
		○論理分析	○主張と論拠など情報と情報との関係について理解し使っている。((2)ア)	○「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)	○読み手の理解が得られるように説得の材料を選出し、構成や展開を工夫しようとしている。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	C 「読むこと」	○社会と人間 ○現代と社会	○主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)	○論理的な文章の読解を通して、主張と論拠との関係について理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
		○人間の風景 ○言葉が開く世界	○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ○文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ)	○「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)	○言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとしている。